

事業所における自己評価結果 (集計)

令和 6年 3月 4 日

事業所名 あしたも笑顔谷中公園 回答 8名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1		利用人数が定員に達しても十分な活動スペースが確保されている。
	②	職員の配置数は適切である	6	2		適切な人数がわからないといった意見があり説明した。現状適切である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			手すり・スロープがあり、状況に応じて活用している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3		日々の振り返りを全体に周知しており、定期的に全体ミーティングも行っている。また、口頭での説明も行い周知している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			保護者の意向を職員間で周知し、業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	3		ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	2	行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			定期的に研修の実施を行っている。研修出来る曜日が限られている為参加出来ない非常勤職員には個別に対応している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	2		年1回定期的に面談を行い更新月の前月には職員間でモニタリングを行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	4		標準化されたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			イベント活動は担当チームが立案し、日々の活動はMT時に常勤職員が話し合い立案して行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		季節イベントに加え事業所独自にお楽しみ会等を企画している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	3		利用時間に応じて計画書の内容を変更する等工夫をしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		適切に作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	7	1		午前中にMTを行い当日の活動内容や担当職員の確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	5		日々行っている午前中のMT時に前日の振り返りを行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			支援内容を記録し、改善点があれば職員間で話し合い改善につなげている。
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	2		更新月の前月にモニタリングを行い計画案を作成している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	5		ガイドラインに沿った計画を作成し、計画に沿った支援を行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	4		どの職員も児童の状況を説明できるが、基本的には管理者が対応している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8			必要に応じて連携している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6	2	現状医療ケアが必要な児童の受け入れなし。 必要に応じて連携していく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4	1	必要に応じて連携している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	4		必要に応じて連携している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3		必要に応じて連携している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	6	現状定期的な交流は行っていないが、機会があれば交流をしたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	5	2	管理者、又は児童指導員が必ず参加するようにしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			送迎時に保護者と会話する時間を設け情報共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	5		特定の職員が対応を行う事が多い。
	保護者	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			日々の送迎時や年1回の個別面談時に適切に対応している。
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	3	検討しているが実現に至っていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			契約時に苦情受付先の説明を行い、事業所内にも掲示し対応を行っている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			毎月お便り形式の会報を発行配布を行っている。
	③⑤	個人情報に十分注意している	8			契約時に保護者から個人情報の同意を得るとともに取り扱いに注意を行っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			個々に応じて配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2		現状行っていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			マニュアルは誰でも閲覧できるよう、事業所内に設置している。また、ホームページにも掲載している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			定期的に開催し、最低年4回訓練を行い訓練の様子は会報にて発信している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			定期的に研修の機会を設け対応している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		1	契約時に説明と同意を得ているものの計画書には未記載の為、今後記載出来る様に書式の変更を検討する。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5	1	保護者との確認のみ。 今後は必要に応じて医師の指示を仰ぐ。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			事例、対応、改善策、再発防止の項目に基づいて記載し職員で共有すると共に注意喚起を行っている。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。